

□内容

このまとめ資料は、一級建築士設計製図試験対策で直前対策セミナー・添削生用に資料としてまとめたものです。添削生用音声解説等と合わせてお聞きいただければと思います。

<http://seizushiken.com/h28matome1006/> 10/6 の 22:00 くらいに開設。

1. 合格するために必要なことと製図試験のポイント
2. 過去課題にみる合否ポイント
3. 本年度課題分析、失格項目整理、出題パターン、逃げの一手
4. 最終チェックリスト

1. 合格するために必要なこと

- ① 試験のしくみからみた、合格するための 4 つのポイント
 - ・失格にならないこと 失格者(ランク4)にならないければ残りの半数が合格する試験。
 - ・大枠をはずさないこと 主条件・ゾーニング(+動線) を守って、完成させる試験。
 - ・常に減点に強い図面/要点をめざすこと 不合格になりにくい、読みオトシのない抜けのない図面/要点。
 - ・そして、完成していること。

- ② そのための考え方として
 - ・合格するのは、問題文の意図を理解して図面化した図面。その理解をさらに要点でアピールする。
 - ・迷う点、あいまいな点、記述があるべきであるのに表現されていない点は全て、合否ポイントである。
 - ・必要なのは、題意を解釈して、理屈として解けていること(論理的整合性)。
 - ・「エスキースで解く」という攻めの部分と、「作図でもれなく描く」「要点で説明する」という守りのイメージを!

- ③ 重要な当日のタイムスケジュール

6 時間半をいかに有効に使うかが勝負の決め手。そのため、時間調整できることは、試験の合格要件である。

 - ・2 時間エスキース → 90 分エスキース：エスキースをまとめるひとつの目安(スケルトンイメージ)
→ 30 分の調整しろ(バッファ)
 - ・1 時間計画の要点 → 1 時間以内でまとめ上げること。
 - ・3 時間製図 → 要求図面等のみを忠実に押さえること。
 - ・30 分の見直し → 見直して 10 点違う。「点を拾いにくい感覚」があるか否か。

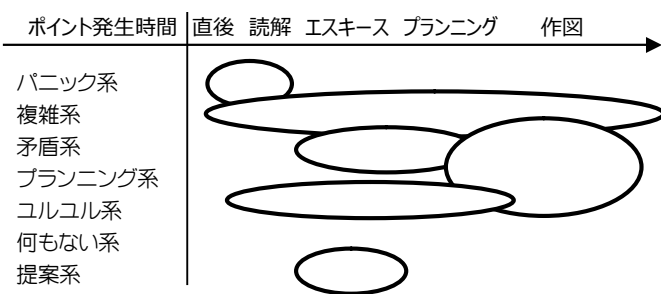
- ④ これから試験日までの残りのまとめ、時間の使い方
 - ・使えるツールを精査し、まとめること。そのために今までの課題をもう一度縦覧する = 縦に観ること。
常に課題を 基本 + その課題の特殊解 として整理しながら観る、まとめること。
製図試験.com 的に「建築する」とは、「集めて → 分類して → 決定する」プロセス
つまり、「今までの課題を全部集め、各部位ごとにチェックし、いつもと同じ部分と異なる部分を整理し、
使えるようにまとめなおすこと」を「縦に観る」と言っています。
 - ・今から新たな課題は、攻められる状態で無い限りはしないこと。(混乱するだけのことが多い→クールダウンへ)

2. 過去課題にみる合否ポイント

□イメージしておいていただきたい過去課題 5 つの難度パターン

注意しておきたいのは、難しさが発生する時間帯が異なること、様々な波が 2 度 3 度と訪れるであろうこと。

① 複雑系	平成 15 ・16・20・23・27
② 矛盾系	平成 13・14・16・20
③ パニック系	平成 12・13・16・17・20
④ プランニング系	平成 15 ・20・22
⑤ ゆるゆる系	平成 18・21
⑥ 何も無い系	平成 19 ・21・25・ 26 ・ 27
⑦ 提案系	平成 24 年



3-1. 本年度課題について (製図試験.com 的課題分析)

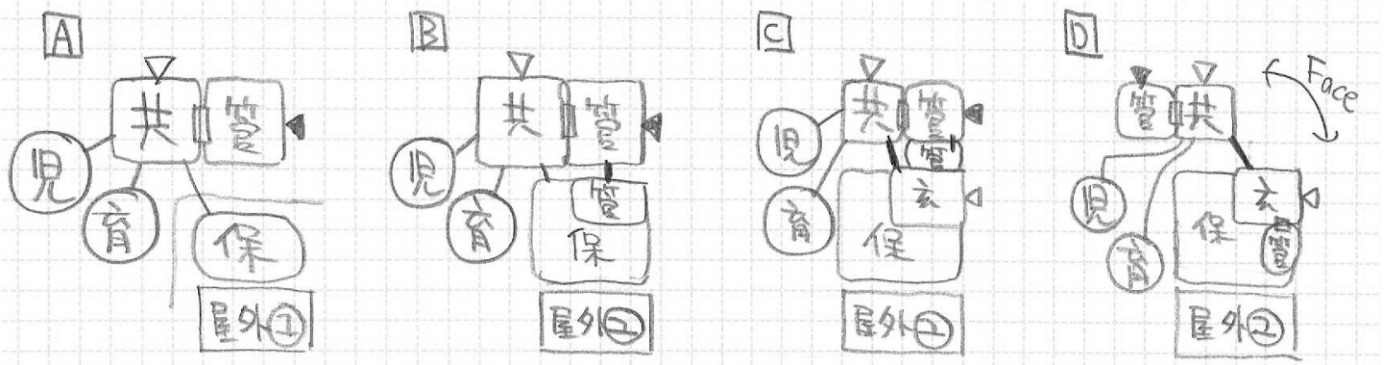
本年度課題名 [子ども・子育て支援センター (保育所、児童館・子育て支援施設)] について、現時点では、以下の8点のポイントが考えられます。

- | | | |
|--------------|---------|------------|
| ① 3つの施設の関係性 | ② 保育所攻略 | ③ 考え得るパターン |
| ④ アプローチとの関係性 | ⑤ 基礎選定 | ⑥ パッシブデザイン |
| ⑥ 特定天井 | ⑦ その他 | ⑧ 計画の要点 |

① 3つの施設の関係性

■ 複合施設か単機能施設か

保育所と児童館・子育て支援センターは、単機能施設として出題されるはずですが、複合施設としての可能性も残されています。この部分を間違えると合格はありません。保育所の入口がエントランスホールからなのか、単独で別の専用入口となっているかは必ず確認すること。部門構成も共用部がなければ、複合施設の可能性が高くなります。



■ 児童館・子育て支援施設

属性としては、児童 (小学生から高校生) までと、子育て親世代 (父母祖父母) の利用主体があり、児童向け、子育て世代向け、共用できる室の3つに大別されるはず。ここを読み取りつつ、1 / 2 / 3階に振り分けること。

■ タイムシェアリングで共有する可能性

保育所と児童館・子育て支援施設は、利用時間帯に若干の違いがあります。時間帯で使われていない室があるのは、もったいないため、何らかの形で空間を共有する可能性があります。

- ・児童館・子育て支援施設側の大空間や共用部を保育所側から共有 (h15は図書室を保育所側から利用可能)
- ・保育所の遊戯室を児童館側から共有 (これは実際はあまりない)

■ 管理部門の共有・分離

管理部門について、施設管理の中に、保育所部分との連携を作るのか否かが問われる可能性が高いです。なければ分離すればいいのですが、つなげた場合、保育所事務室から屋外遊戯場は臨みにくなります。

② 保育所攻略

■ 配置計画

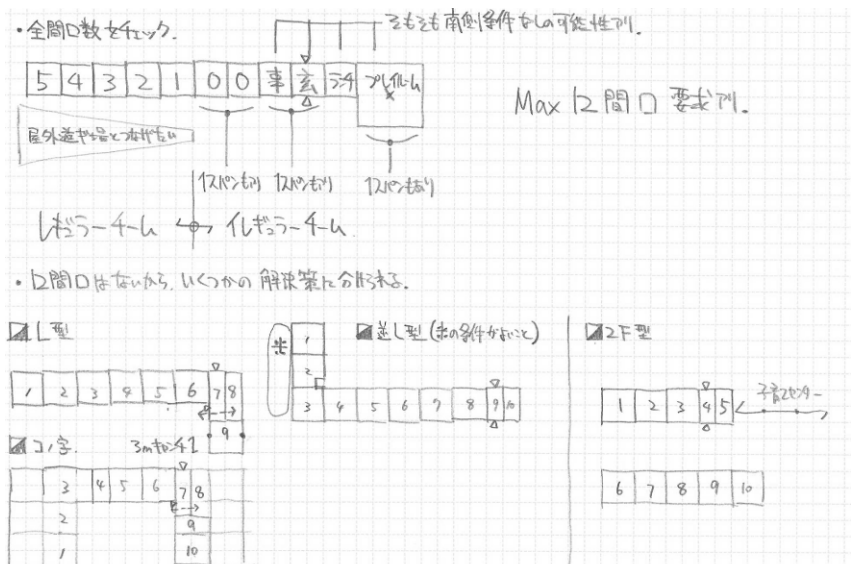
保育室については、南>南東>東>南西までが計画していい範囲とし、西向きや北向きは原則不可とします。

間口が多い場合で40m²系の場合は、迷わず間口×奥行き=6×7で攻めます。

1階に別部門の面積が必要だったり、間口が多くない場合、また奥行きで何らかの処理が必要な場合は、7×6を使います。

それ以外は7×7。間口が多く50m²系なら6×8となりますが、無理に覚えず、使えるモノを用意するようにしましょう。

さらに配置については、I型、L型、コの字型、逆L型、2階I型等があります。

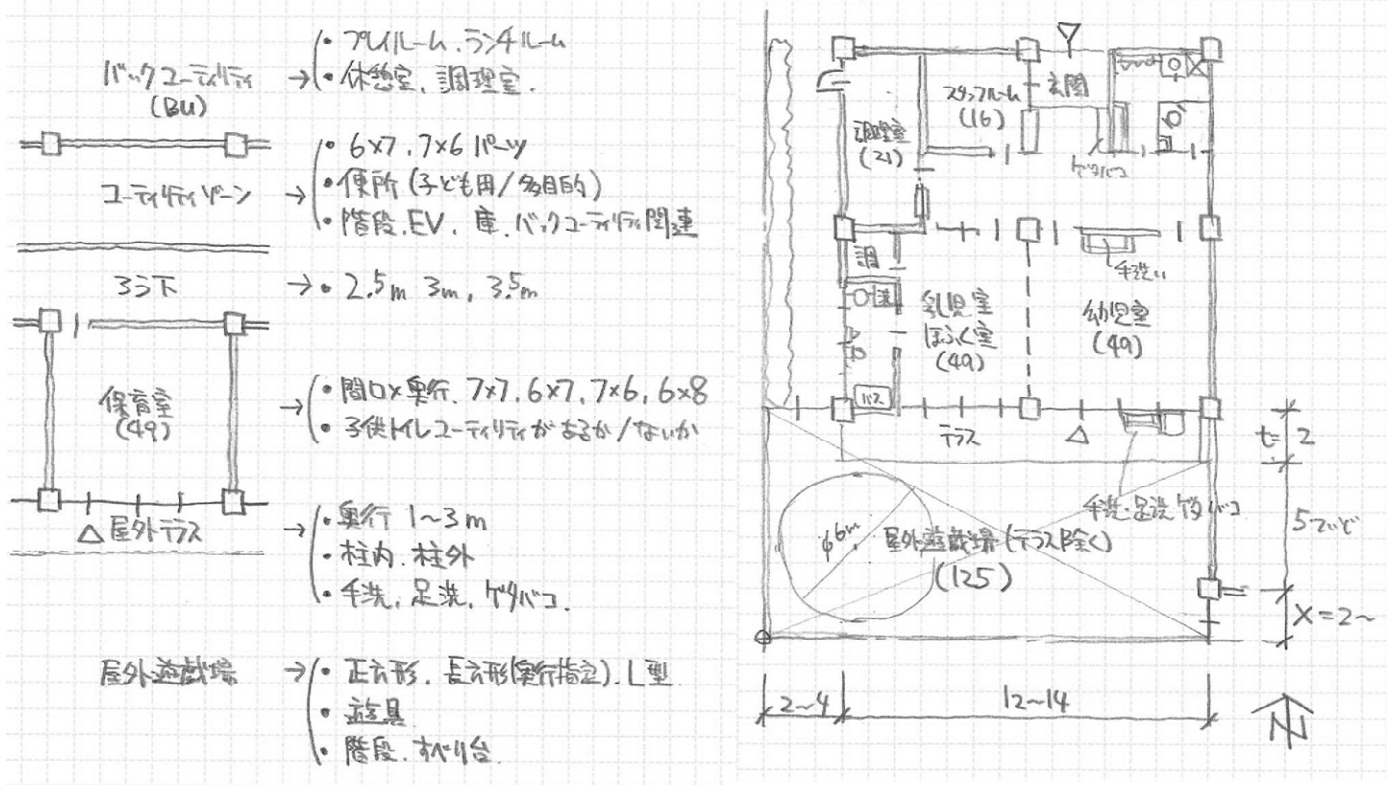


■各室の役割の確認

保育室、乳児室/ほふく室、もく浴室、調乳室、遊戯室、食事室、玄関、職員室とその役割を理解すること。

保育所の管理部門と職員室は、離れても機能します。玄関をチェックしつつ、屋外遊戯場を観ることができる職員室は、往々にしてアイランド型にならざるを得ず、職員室だけが離れることを恐れてはいけません。

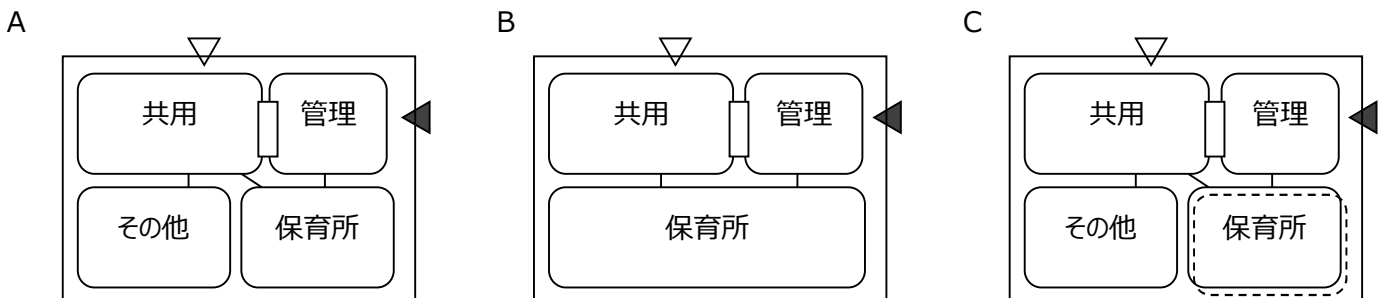
■プランニングパーツとしては、屋外遊戯場－屋外テラス－保育室－廊下－ユーティリティゾーン（バックユーティリティ）までをセットにして覚えること



③考え得る保育所のパターンについて

施設全体における保育所の計画は、次の4つに分けられる。

保育所設置階	ゾーニング	特徴
1階	A:南東半分	保育所が最も小さいパターン (2コマ保育所~)
	B:南側占有	1階型の保育所で最も大きなパターン
1-2階	C:1-2階半分	1-2階で麻雀のパイのように並べるイメージ
	D:1-2階占有	H15はこれで出題。間口が12スパンとか...

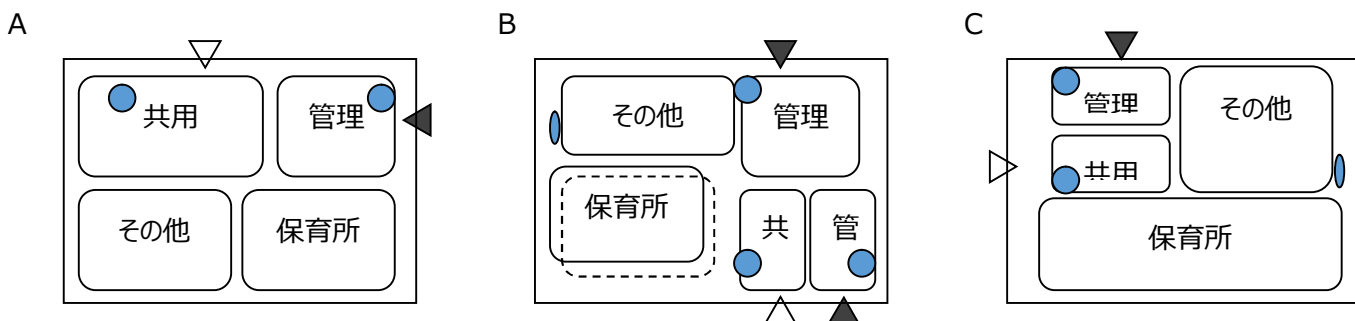


④アプローチとゾーニング

本年度課題は、保育所が南側を占有するため、プランニング上、アプローチが特殊になる可能性がある。

- ・A:北入りの特徴－最もオーソドックス。敷地では攻めてこないため、別の条件で攻めてくる可能性あり。
- ・B:南入りの特徴－保育所で南間口が食われるため、6x7 は必須。入口偏るので第 3 の階段可能性あり。
管理部門は、共用部横タイプと出迎え型となって奥に設けるタイプがある。
- ・C:妻入りの特徴－保育所が南側を食うために、北側で共用管理を設ける。パターンを持っておくと強い。
南入り同様、3 つめの階段が必要になる可能性が高い。

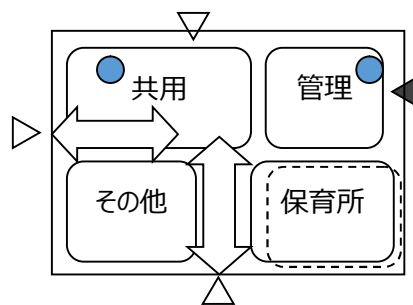
それぞれのアプローチパターンで、課題をまとめておくとエスキースがまとまりやすい。



Cf : ■ 山口の独断と偏見による本試験予想

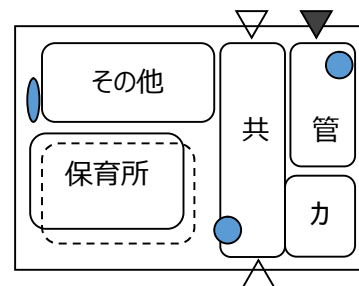
A:北入り保育所最小、公園パス型（保育所 1-2 階も考え得る）

公園グランドとは何らかの関係が求められる可能性が高く、子ども・子育て支援センターということ考えると、意外に保育所はコンパクトなのではないかと考えられる。その際、1 階には子育て支援のための案内カウンターが計画されるが、これが全体の管理部門になる可能性もある。管理部門の配置を誤るとゾーニングが崩れる恐れがあるので、西・東両方の検討をしておくことが重要。



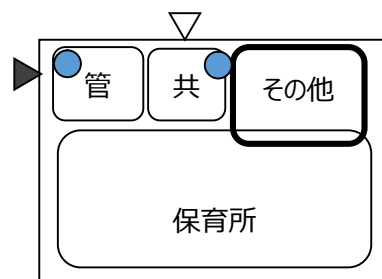
B:南入り保育所 1-2 階型

保育所が南側に引っ張られるため、間口数がどうしても少くなることから、さらに南入りにすることで計画が困難になるタイプの出題イメージ。管理部門の位置が共用部横か出迎え型で奥か又は 2 階の大空間位置による。保育所が小さく、1 階で収まる可能性もある。



C:保育所南全面バック不明型

保育所が南側を占有するタイプ。この場合、右上のその他の部分に何が入るかで随分様相が異なるので注意。



その他、気になる点として羅列しておく・・・。

- 1) 床面積が小さくてゆるゆるなタイプ：最初から大きく建築物をとろうとすると 1 階がばかでかくなる。
- 2) 多い外構物：駐輪場 80 台とか、駐車場 5 台とか、広場 300m² とか。
- 3) 勾配屋根と特定天井
- 4) 柱状図の出題

④特定天井について

特定天井もしくは大空間の天井落下対策は必ず出題されるが、ポイントは、

①吊り長さを3m以内、②1本/m²以上、③斜材の入れる、④壁とのクリアランスを設ける、⑤20kg/m²以下とするという点が挙げられます。図面も必ずそのように描くように。(③の斜材については、トラスのように全面的に入れられないように)

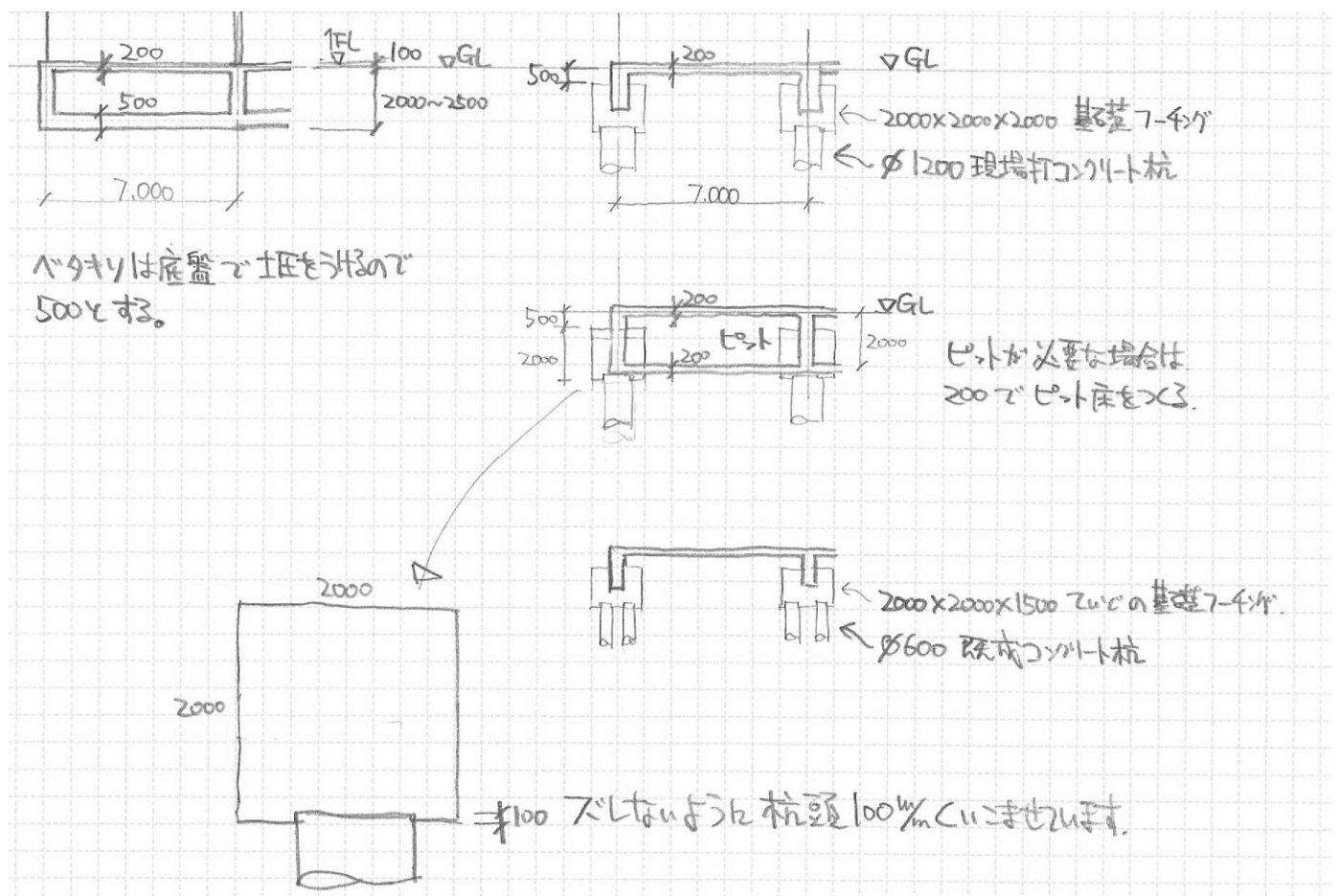
⑤パッシブデザイン

大きくは太陽光、太陽熱、通風というキーワードとそれに対して、夏期、冬期、季節のよい時期においてどのような効果を発揮するのかをまとめておけば大丈夫だと思います。

	夏期	冬期	季節のよい時期
太陽光	日射は遮り、光は入れる	日射も光も取り入れる	光は取り入れるが、日射は室温による
太陽熱	日射・熱共に遮る 室内に熱を入れない逃がさない	日射は取り入れる 室内の熱を逃がさない	特になし
通風	不要	不要	積極的に風を取り入れる

⑥基礎選定について

支持地盤が2mまでなら浅層改良、2mから10mなら柱状改良、10m以上なら杭基礎とします。



⑦その他

今年の添削を俯瞰する限り気がついたことも含めて。

- ・作図量が多いのにエスキースにも時間をかけすぎているため、6時間半で収まらない方が多い。
- ・保育所を大切にすぎて、メインコアサブコアの配置が乱れている方が多い。
- ・面積の読み間違いが多い。Exp: ロッカー室一男女計50m²を各々50m²とした。
- ・二方向避難の60/30が守られていないことが多い。
- ・3階の大空間で道路斜線に当たってしまった場合は。2Aかつ35mを再度チェックしておきましょう。

建築基準法56条7より、天空率から道路斜線制限により確保される採光・通風と同程度以上の採光・通風が確保されていると考えられ、道路斜線制限を適用しない建築物とする。

⑧計画の要点対策

■建築計画としてのねらいどころ

- 保育所と児童館と子育て支援施設についてのゾーニングと動線上工夫した点
→利用者属性に応じて、子育て世代向けと児童向けで階の振り分けを行った。共用できる室については（どちらでもよいので）〇階に配置した。
- 保育所部門と児童館・子育て支援部門で共有する部分と工夫した点
→キーワード：タイムシェア、利便性、動線に配慮、セキュリティ、カードキーロック等
- 保育所内のゾーニングと動線上工夫した点
→南-屋外遊戯場-テラス（パッシブにも関係）-保育室、廊下と死角、調理室動線等
- 採用したパッシブデザインとその理由
→自然エネルギーを有効に利用した。という表現が使いやすい。庇、縦型・横型ルーバー、トップライト、高窓、吹抜け

■構造計画

- 目標耐震性能
大地震後、構造体の大きな補修をすることなく、建築物を使用できることを目的都市、人命の安全の確保に加えて十分な機能確保が図られていることを目標耐震性能に設定した。
- 特定天井の留意点
- 採用した基礎と選定理由
＜地盤改良（柱状改良）+ベタ基礎＞
地盤改良の上、不同沈下に強く、直接支持地盤に建築物の重量を伝達できるベタ基礎とし、基礎底盤を500mmとした。
＜場所打ちコンクリート杭＞
支持地盤がGL-〇〇mであるため、1本あたりの鉛直支持力が大きな場所打ちコンクリート杭とした。杭の先端部は、支持地盤に1m以上貫入させた。掘削が容易でボーリング壁の崩壊を防止できるアースドリル工法を採用した。
＜既製コンクリート杭＞
支持地盤がGL-〇〇mであるため、材料品質の信頼性が高い既製コンクリート杭を採用した。根固め液によって杭を支持地盤に固定できるプレボーリング根固め工法を採用した。

■設備計画

- 建築環境負荷低減策
- 乳幼児に優しい保育環境に配慮した設備（照明、空調、給排水等）

■知っている知識以上を計画の要点が求めてきたら。

原則は、利用者が使いやすいために、管理者が管理しやすいように、というルールを念頭に置いて記述すること。具体的に書けなくても、その2点については、理由として書けるはず。また、知っている知識を全て動員することは当たり前だが、知らないことまで知っているように書くと、かえって墓穴を掘る可能性があるので注意。さらにわからないからといって、絶対に空欄にしないこと。

＜心がけとして＞

本試験では、今まで想定もしていなかったことが、何点か含まれている。初めての記述、意味不明な記述には十分注意しつつ、時間内に判断することが求められている。気をつけるべきは、そのことで不用意に時間を取られすぎないこと。本試験は時間との勝負であることを忘れないこと。あなたがわからないことについては、他の受験生もわからない可能性が高い。とするとそれではあまり差が付かず、結局、基本が崩れた方が、減点が大きくなり不合格になる。難しいと感じる問題ほど、基本を大切にしよう。

3-2. 失格項目の整理

平成21年度の新試験制度から、足切り点が設定されています。
押さえておく必要があると思われる失格項目を解説しておきます。

未完

少なくとも時間管理することで、未完を防いでください。
計画の要点は、1問の空欄でも失格。

上下階不一致（階段、吹抜、建物外形）

上下階不一致するのは、①柱・寸法を描く時の写し間違い
②突然間違いを見つけた際の変更 しかありません。
このタイミングでのチェックを忘れないように。

設計条件違反

I 設計条件及び 4. 留意事項で指摘している具体的な事項に
に対して、違反している場合、失格の恐れがあります。

面積違反

面積オーバー／アンダーで失格にさせる可能性あり。
 加えて、建ぺい率 70% 以下の場合には、建ぺい率でのオー
バーも視野にいれましょう。

階数間違い

特に地階があるなしのミスは失格となっています。

法令違反（単体規定では失格にはなりませんが）

2方向避難（60/30）絶対高さ指定の可能性あり。
 2Aかつ35mは6m以下の道路であれば確認すること
6m以下の道路（遊歩道は含まず）で住居系＝道路斜線あり
 保育室の採光1/7について、前面に階段があると危ないので注意

動線・ゾーニング違反

利用者、管理者が非常に不明瞭なもの
 出入口と共用・管理には注意

エレベーター設置違反

台数、部門指定、用途指定があるかもしれません。
エレベーターは、必ず記述に従うこと。自由でも
他の記述に注意。どれが間違っても失格です。

構造／設備

著しい理解不足については、失格になっています。
基本的なメンバーリストは右表の通り

その他過去の本試験で失格になっているもの
著しい設計条件違反は失格となりますが、
意外な項目での失格があります。

- 所要室天井高さ指定違反（吹抜含む）
- 上階での吹抜と屋根の描き間違い
- 主要な要求室の欠落（特に便所）
- 図面枠の外に図面を描いたもの
- 要求室面積のごまかしが著しいもの

標準的な梁寸法

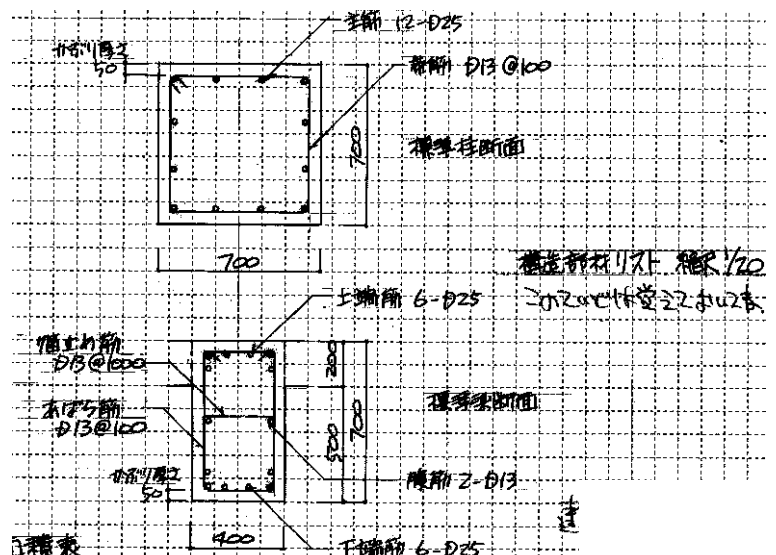
	スパン	B×D(幅×せい)	備考	
RC	6	350×600	1/10	
	7	400×700	1/10	
	8	450×800	1/10	
	9	500×900	1/10	
	Pc	8	350×700	PRC1/12
		9	400×750	PRC1/12
10		450×850	PRC1/12	
11		500×950	PRC1/12	
12		500×1000	PRC1/12	
13		450×900	PC1/15	
SRC	14	500×950	PC1/15	
	15	500×1000	PC1/15	
	16	550×1100	PC1/15	
	17	600×1150	PC1/15	
	18	600×1200	PC1/15	
	7	500×700	1/10	
	8	500×750	1/11	
	9	500×800	1/12	
	10	500×850	1/12	
	11	550×900	1/12	
	12	600×1000	1/12	
	13	600×1100	1/12	
14	650×1200	1/12		

	スパン	断面	備考
S	7	H-500×300	1/15
	8	H-600×300	1/15
	9	H-600×300	1/15
	10	H-700×300	1/15
	11	H-800×300	1/15
	12	H-800×350	1/15
	13	H-900×350	1/15
	14	H-1000×350	1/15
	15	H-1000×350	1/15
	16	BH-1100×400	1/15
	17	BH-1200×400	1/15
	18	BH-1200×450	1/15

標準的な柱寸法

	階数	寸法	備考
RC	5以下	700×700	
	6以上	800×800	
SRC	5以下	800×800	
	6以上	900×900	
S	5以下	□-500×500	
	6以上	□-600×600	

※ロングスパンの両側の柱は1サイズアップ



もしもの時について。

あまり文字にして残したくないのですが、とっさのトラブルの際の手段として、持っておくと護身用にはなるかな、と。

1) エスキースで面積オーバーの際 (今年は特に、各 \circ m²、計 \circ \circ m²での間違いが多い)

- ・平屋があれば、その部分からスパンを短くする
- ・共用部だけのスパンがあればそのスパンを短くする
- ・入玄関にして、風除室前を減ずる
- ・ピロティできる部分はセットバックする (例え 1m でも)
- ・ $\pm 10\%$ の範囲で要求室を小さくする
- ・要求されていない室をやめる (特に機械室・電気室・受水槽室・管理諸室)
- ・要求室のうち、50m² 以上のものは欠落すると失格と置いて下さい。

2) 建ぺい率に掛かることを直前に発見した場合

- ・庇は 1m 以内にする
- ・平屋があれば、その部分からスパンを短くする
- ・共用部だけのスパンがあればそのスパンを短くする

3) 二方向避難ができてない室を発見した場合

- ・屋外階段を設ける。ただし建ぺい率には注意。(建ぺい率アウトの方がペナルティは重い)
- ・複数ある場合は、バルコニーをまわし (シャンプーハットのように)、バルコニーの 1ヶ所に屋外階段を設ける。二方向避難重複距離はそれでカバーされる。室経路は不可、階段は 4つ (5つ) 以上の階段も減点大。

4) エスキースが 2 時間で納まらない場合

- ・あなただけができないのではなく、まわりもできてない可能性があることを認識。つまり難しいということ
- ・2 時間でエスキースを終えるためには、1 時間 30 分の時点でまとまるかまとまらないかを判断する必要アリ。
- ・保育所部門、共用、管理が納まっていて、スパン及び面積がほぼ確定しているなら、とっとと切り上げる。
- ・便所や EV が納まらないこと、要求室が納まらないことで時間を使いすぎるのはもったいない。時間優先で、1) の方法をとってでも、進めることが重要。
- ・EV は最悪二方向出入口 EV を利用しても OK。
- ・室の比 1 : 2 は無視してでもまとめること

5) 断面図で切断位置がうまくいかない場合

- ・「Z 斬り！」を使って下さい。ここで表現として重要なのは、必ず断面図に一点鎖線が入ること。一点鎖線を描かずに省略とかで描くと失格になる。

6) 計画の要点でどうしても分からない部分がある場合

- ・時間を取られても仕方ないので、問題文をそのまま写し、その上で、「最適な方法となるよう検討した。」と書く。そのことで時間が取られることの方が危険。

7) ダメだとしても未完を避けること

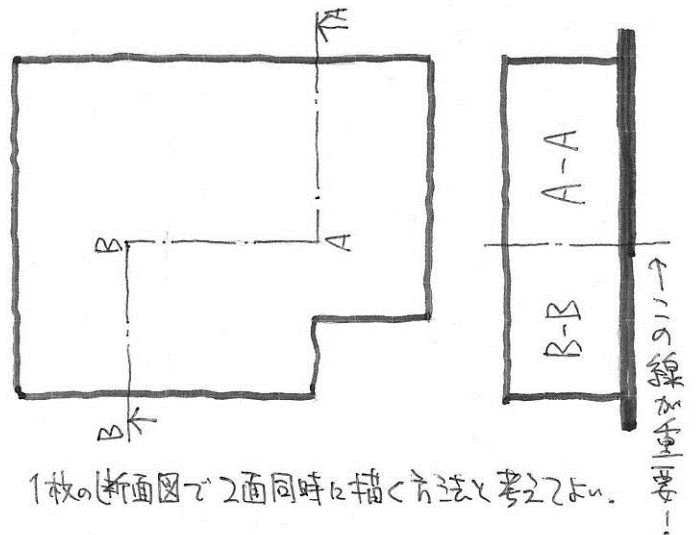
室が納まらなくても、建ぺい率や面積などの数字がオーバーしていない限りは、未完でない限り、土俵には残ります。フリーハンドでもいいので完成させること。諦めたらそこで終わりです。凡例を押えれば、単線プランでも過去には合格しています。開口部と壁と見え掛かりの線さえ描き分けていたら、単線でも土俵にのります。

8) 意外なようですが・・・

逃げるときも、心を入れて描く。これは重要です。逃げている気持ちで描くといいいものにならない。

どうせなら開き直って、正々堂々、心を入れて描くことです。特に計画の要点。

採点する相手もまた人間なので、焦って、逃げて、描き殴った図面と、正々堂々と開き直りつつ心を入れていぬいに描いた図面なら、どちらに軍配が上がるかは明らかでしょう。



4. 最終チェックリスト（転載不可・コピー不可）必ずひとつひとつ確認してください。

はじめに

- 体調を万全にしてのぞむ。
- 問題文を読む前に、いつも忘れそうなことを問題文の欄外に書くこと。
- 難しさを測ること-難しさに応じて作戦を変更すること。-難しさによってタイムスケジュールを変える。
- 知らないことで自分を見失わないこと。自分のパターンに持ち込んで勝負する。
- 今までやったことのないことは基本的にしないこと。
- 問題文が答え。全て載っている。解答用紙が答え。ココにしか描けない内容しか出題できない。
- パレートの法則：最初の20%で全体の80%が決まる。
- この施設が「子ども・子育て支援センター（保育所、児童館・子育て支援施設）」であることを忘れないこと
- 自身の合格を確信し、最後の最後まで絶対諦めないこと。

条件読解

- 設計条件は絶対遵守。
 - 1) 「子ども・子育て支援センター（保育所、児童館・子育て支援施設）」であることを忘れないこと。
 - 2) 全体構成に影響を与える5点
 - ①保育所間口数、②保育所1階or1-2階、③1階に他に来る部門、④6x7,7x6,7x7 ⑤屋外遊戯場の大きさ
 - ⑥大空間2階or3階からイメージを柔らかく作ること。
- 児童福祉法に則るかどうか記述がなければ、今まで通り行うこと。（h15は児童福祉法に寄らないと記述あり）
- 見慣れた言葉は味方として。見慣れない言葉に最重点注意。
- 設備系の指定には注意 受水槽、キュービクル、空調方式等。特にEVの部門・用途設定は、間違えると失格事項。

要求図書

- 特記事項を絶対逃さない。特に目新しい表記、見慣れない指示事項には最大限注意すること。
- 面積記入・造作記入。切断位置なども注意しよう。
- 断面図は、切る場所のチェック・切る方向のチェック→用紙に書き込んでおくこと。
- 計画の要点／面積表はできるだけ最初を書くこと。（最後は手が震える）面積はチェックにチェックを重ねること。

敷地条件

- 1) 敷地・計画エリア形状
 - 2) 接道条件
 - 3) 隣地条件
 - 4) その他特記
- の4つの視点でチェックする。
- まず敷地形状の確認（7 x 7で6x4コマの際、エリア境界3m空き、メイン道路4m、サブ3m空きが入るか否か）。
 - アプローチ道路の確認。
 - 周辺敷地の優先順位の確認。保育所は南>南東>東>南西 主要な室をよい方向に向ける。
 - 道路をはさんでの環境はあまり重視しなくてよい。
 - 隣接敷地の建物形状まで出題されることもある（H16,H7,H21）
 - 建蔽率、70%以下の場合、大きな広場があるか、建蔽率によってコマ数アウト、がでてくるので要注意。
 - このタイミングで道路斜線はチェックしておきたい。

建築物

- その他、「ピロティ、バルコニー、塔屋、屋外階段」の4項目以外に入らない面積（屋外テラス等）を書き出しておくこと。
- アプローチ指定があるのはたいていココなので、細心のチェック。
- 保育所が2階の場合、エレベーター、(屋内)階段、バルコニー、屋外階段、すべり台の記述には注意すること。

その他の施設

- プラザ・広場・オープンスペース等はひさしやピロティ部分を含むかとアプローチに使うてよいか必ずチェック。
- 広場・プラザが出題された場合、形状、大きさに注意。広場は1：1、1：2、制限なしの4m幅3パターンが原則。
- 集会機能が要求される場合は、1：1か1：2が原則。それ以外は1：2をはずしてよい。
- 屋外デッキ等は広場とは異なる位置付けなので、形状はそれほど気にしなくてよい。
- 駐車場との関係、計画エリア内に設けるか+動線、降車後の動線に注意。歩道の切り開き幅は記述に従う。
- 駐輪場20台以上（10mx4m）は結構厳しいので、面積要注意。あなどるべからず。

法規

- 二方向避難は、3階よりも2階が危ない。「耐火建築物かつ内装不燃材料により重複避難距離を30mとする」
- 3つの防火区画：
 - ・面積1500m²ごとにただ単に区画する1500m²面積区画
 - ・3層吹抜けは1階も縦穴区画をする
 - ・異種用途は出入口が別の場合にかかるので、可能ならシャッターで区切る。
- 500m²毎に防煙区画が必要
 - ・防煙垂れ壁が500m²ごとに必要
 - ・100m²以下の事務室で無窓なら「建設省告示1436号より仕上下地ともに不燃材料とし排煙免除。」と記載。
- 第1種低層住居専用地域の場合、絶対高さ等の指定がある場合は注意。
- 道路斜線（2 Aかつ35m）住居系1.25 それ以外1.5
 - 守れない場合は、→建築基準法56条7より、天空率から道路斜線制限により確保される採光・通風と同程度以上の採光・通風が確保されていると考えられ、道路斜線制限を適用しない建築物とする。を使う。
- 居室：廊下側の窓先に階段とかすべり台がある場合や中廊下だと廊下側では採光が取れない無採光室になる。

要求室

- 保育所が生命線。
- 柱の梁受け＝構造不安定として絶対に禁止。
- 集会機能が求められる場合、1：2原則
- コーナー・ロビー・ラウンジ・サロン・ホワイエは求められない限り、原則室とせずオープンとする。

特に難しい言葉について / 仕掛けてくるだろうポイント

- 和製英語のような専門用語に関しては、とにかくびびらないこと。＝知っている空間に置き換える。体験したことのない空間は出題されない。 ガレリア：ガラス屋根の回廊、吹き抜け廊下状の空間など。
- 外部アプローチが決めにくい、外売場がでかい。 変形敷地 既存建物、既存木 敷地内レベル差
- 内部プランが7 x 7で納まらない、物販部門や大空間の位置が決めにくい 建物内レベル差
- 要求が観たことがない。全く考えてなかった何かが盛り込まれる可能性が十分ある。

その他

- 計画の要点は、1問でも白紙は失格。
- 難しいと思う計画の要点の場合、少なくともそこだけ残して他を完全に仕上げ、時間を不用意に取られないこと。
- 難しいときは描き込み量勝負。簡単なときは丁寧な描き込みの質勝負。
- 自分がパニックになるときは回りも実はパニックになっていることを忘れるべからず。

最後に

■試験とは、究極、時間との勝負です。

力を出し切ること、ミスは極力少なくすれば、3時間で図面が描ける人は絶対に合格できます。

でも力が出し切れず、ミスをするのが人間という生き物です。

力を出し切るには、平常心。深呼吸すること。

ミスをなくすことはできないので、チェックする時間をつくること。

これだけで合格率は10%上がることを最後まで忘れずに。 祈合格。

平成28年10月5日

製図試験.com主宰 山口達也